

2022年12月30日

各位

株式会社三井住友銀行

E・Jホールディングス株式会社に「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、E・Jホールディングス株式会社（代表取締役社長：小谷 裕司）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、E・Jホールディングス株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

① 廃棄物処理設備の計画等を通じた廃棄物の適正管理・地域のエネルギー効率の改善

| | |
|--------------------------------|--|
| 目標 11 住み続けられる まちづくりを | 11.6 2030年までに、大気の水質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。 |
| 目標 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに | 7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。 |
| | 7.2 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。 |

② 都市および重要インフラの災害に対するレジリエンス強化への貢献

| | |
|----------------------------|---|
| 目標 13 気候変動に 具体的な対策を | 13.1 すべての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。 |
| 目標 11 住み続けられる まちづくりを | 11.5 2030年までに、貧困層及び脆弱な立場にある人々の保護に焦点をあてながら、水関連災害などの災害による死者や被災者数を大幅に削減し、世界の国内総生産比で直接的経済損失を大幅に減らす。 |

三井住友銀行では、「SDG s 推進融資」により、本業を通じ、SDG s が達成される社会の実現に貢献をしております。



都市ごみ再資源化施設の普及・
実証事業における実証プラント
(スリランカ国)



上下水道管理能力強
化プロジェクト
(パキスタン国)



南海トラフ地震に備えた津
波避難タワーの新設
(徳島県)

<ご参考>

※ SDG s とは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

以 上